

高等部 2年生 外国語 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名 (仮)
<p>【知識及び技能】 <u>選択教科</u> <u>生活単元学習</u> ア 英語の特徴等に関する事項 (ア) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くこと。 ㉞ 英語の音声を聴いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くこと。 ㉟ 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。 ㊱ 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。</p>	<p>「」 *いずれも特別支援教育独自。 *1年生で取り扱う内容と同じ。</p>
<p>【思考力, 判断力, 表現力等】 <u>選択教科</u> <u>生活単元学習</u> イ 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (ア) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。 (イ) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすること。</p>	<p>「」 *いずれも特別支援教育独自。 * (ア) は1年生で取り扱う内容と同様。 * (イ) は“milk”という語を読んで牛乳を思い浮かべたり、“eat”という語を読んで食べる動作を思い浮かべて日本語の「食べる」と結び付けたりする活動、音声で慣れ親しんだ語彙などの文字をなぞったり見ながら書いたりする活動など。(知的の内容解説 P.171 を参考に)</p>
<p>ウ 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 (ア) 聞くこと ㉞ 自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。 ㉟ 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取る活動。 (イ) 話すこと【発表】 ㉞ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介する活動。 (ウ) 話すこと【やり取り】 ㉞ 挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をしてそれらに応じたり断ったりする活動。 (エ) 書くこと ㉞ 活字体の大文字、小文字を区別して書く活動。 ㉟ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。 ㊱ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。 (オ) 読むこと ㉞ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。 ㉟ 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音する活動。 ② 言語の働きに関する事項 (ア) 言語の使用場面の例 ㉞ 特有の表現がよく使われる場面 ・挨拶 ・自己紹介 ・買物 ・食事 ・道案内 ・旅行 など (イ) 言語の働きの例 ㉞ コミュニケーションを円滑にする</p>	<p>「」 *いずれも特別支援教育独自。 ①言語活動に関する事項 (ア) ㉞の例 自己紹介の場面で、カレンダーを参考にしながら友達の誕生日などを聞き取ったり、時計や時刻が書かれたものなどを参考にしながら友達の起床時刻などを聞き取ったりする。 (エ) ㉞の例 基本は(エ) ㉞と同様。書き写す語彙の文字数や意味など、段階的に発展させる。 (オ) ㉞の例 自己紹介の場面で、カードに書いてある自分の名前の綴りを発音する活動など、(オ) ㉞の活動と併せて行うこともできる。 ※(ア) ㉞, (イ) ㉞, (ウ) ㉞, (エ) ㉞ ㉟, (オ) ㉞については、1年生で取り扱う内容と同様。 ②言語の働きに関する事項 ※知的の内容解説 P.177～182を参考に。</p>

<p>・挨拶をする ・呼び掛ける ・相づちを打つ ・聞き直す など</p> <p>④ 気持ちを伝える</p> <p>・礼を言う ・褒める ・謝る など</p> <p>⑤ 事実・情報を伝える</p> <p>・説明する ・報告する ・発表する など</p>	
【2段階】	
指導内容	単元名（仮）
<p>【知識及び技能】</p> <p>ア 英語の特徴等に関する事項</p> <p>(ア)英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くこと。</p> <p>⑦ 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くこと。</p> <p>④ 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。</p> <p>⑤ 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。</p>	<p>「」</p> <p>*いずれも特別支援教育独自。</p> <p>*⑦で読んだり書いたりする対象は語彙が中心。簡単な語句や基本的な表現については、ウ①(ア)～(ウ)で扱う。</p> <p>*④は1段階と同様。取り上げる事物や要件など題材を広げる。</p> <p>*⑤も1段階と同様。指導に当たっては、ウで示している言語活動や言語の使用場面で用いる簡単な語句や基本的な表現を相手や場面設定などに変化をもたせ、興味・関心をもって繰り返し取り組むことができるように工夫する。</p>
<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>イ 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(ア)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うこと。</p>	<p>「」</p> <p>*特別支援教育独自。</p> <p>*1段階の内容を発展させたもの。</p> <p>これまでの学習で活用されてきた慣用表現や文などの基本的な表現を用いて伝え合う活動を行う。</p>
<p>ウ 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>(ア)聞くこと</p> <p>⑦ 自分のことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。</p> <p>④ 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。</p> <p>(イ)話すこと【発表】</p> <p>⑦ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを話す活動。</p> <p>(ウ)話すこと【やり取り】</p> <p>⑦ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。</p> <p>(エ)書くこと</p> <p>⑦ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。</p> <p>(オ)読むこと</p> <p>⑦ 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。</p> <p>② 言語の働きに関する事項</p> <p>(ア)言語の使用場面の例</p> <p>⑦ 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>・挨拶 ・自己紹介 ・買物 ・食事 ・道案内 ・旅行 など</p>	<p>「」</p> <p>*いずれも特別支援教育独自。</p> <p>①言語活動に関する事項</p> <p>(ア)⑦の例</p> <p>1段階の内容に加え、学校での出来事や行事、友達のことなど、生徒の興味・関心や実態に応じて話題を広げる。複数の異なる人物のイラストを同時に提示し、話された表現に合うイラストを選ぶ活動や、生徒の絵やアルバムなどを見ながら教師が英語でゆっくり説明するのを聞く活動。</p> <p>(ア)④の例</p> <p>音声を聞いて具体的な情報を聞き取る活動に発展。日付の確認をしたり、ゲームや競争などで数を数えたりする。</p> <p>(イ)⑦の例</p> <p>学校や家庭で起こる日常的な出来事や興味・関心のあることなどについて自分の考えや気</p>

- ④ 生徒の身近な暮らしに関わる場面
- ・学校での学習や活動 ・家庭での生活 ・地域での生活 など

(イ) 言語の働きの例

- ㊦ コミュニケーションを円滑にする
- ・挨拶をする ・呼び掛ける ・相づちを打つ ・聞き直す など
- ① 気持ちを伝える
- ・礼を言う ・褒める ・謝る など
- ㊧ 事実・情報を伝える
- ・説明する ・報告する ・発表する など
- ㊨ 相手の行動を促す
- ・質問する ・依頼する ・命令する など

持ちを含めて発表する活動。(知的の内容解説 P.187 を参考に)

(ウ)㊦の例

身近で簡単な事柄について、質問をしたり質問に答えたりしながら自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動。(知的の内容解説 P.187 を参考に)

(エ)㊦の例

1 段階の㊦と同様。書き写す語彙を増やしたり、伝える相手や目的を広げたりする。

(オ)㊦の例

海外旅行のパンフレットを模した紙面を読んで、行きたい国で有名な食べ物などの情報を得る活動。テレビ番組欄を模した紙面を読み、曜日や見たいスポーツなどの情報を得る活動。

②言語の働きに関する事項

※知的の内容解説 P.177～182を参考に。